

# TOSHIBA

## 東芝換気扇（ダクト用） 取付説明書

形名 | **DVC-18T1**  
**DVC-20T1**

- この換気扇の注意事項をよく知っていただき、正しく取り付けていただくためにこの取付説明書をよくお読みください。
- この取付説明書は工事完了後、お客様にお渡しください。
- 別売部品をご利用ください。（詳しくはカタログをご覧ください）

### もくじ

---

安全上のご注意	1 ~ 2
取付上のお願ひ	3
製品寸法	4
付属品	4
取付図	5
取付方法	5 ~ 7

---

# 安全上のご注意

- 商品および取付説明書にはお使いになるかたやほかの人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

表示	表示の意味
 <b>警告</b>	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（* 1）を負うことが想定される内容”を示します。
 <b>注意</b>	“取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷（* 2）を負うことが想定されるか、または物的損害（* 3）の発生が想定される内容”を示します。

- \* 1: 重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
- \* 2: 軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
- \* 3: 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

表示	図記号の意味
 禁止	⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
 指示	●は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

- 取付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れのしかたを説明してください。  
また、この取付説明書は取扱説明書とともにお客様で保管いただくように依頼してください。

## ⚠ 警告

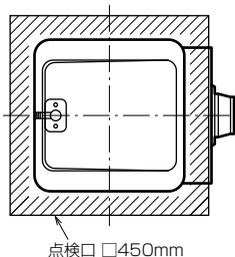
 改造禁止	<b>改造はしない</b> 火災・感電・けがの原因になります。
 分解・修理禁止	<b>修理技術者以外の人は分解、修理（※）をしない</b> 火災・感電・けがの原因になります。 ※修理はお買上げの販売店または東芝エアコン空調換気ご相談センターにご連絡ください。
 アースを接続する	<b>アースは確実に取り付ける</b> 故障や感電したとき、火災・感電の原因になります。 アースの取り付けは販売店や電気工事店を通じ、電気工事士へ依頼してください。
 接触禁止	<b>メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属性ダクトが貫通する場合、金属性ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないよう取り付ける</b> 漏電した場合、火災の原因になります。
 取付禁止	<b>内釜式風呂を設置した住宅には取り付けない</b> 排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす原因になります。
 給気を確実に	<b>煙突排気の燃焼器具がある住宅に据え付けるときは、十分に大きな空気取り入れ口を別に付ける</b> 排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす原因になります。
 交流 100V を使う	<b>電源は交流 100V を使う</b> 交流 100V 以外の電源を使うと、火災・感電の原因になります。

## ⚠ 注意

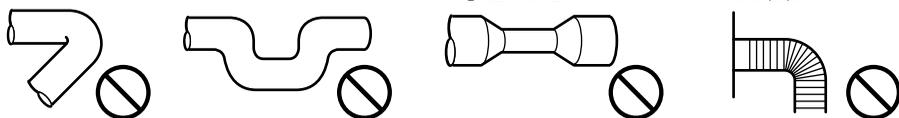
 取付禁止	<b>浴室内には壁スイッチを取り付けない</b> 火災・感電の原因になります。
 確実に取り付ける	<b>強度のある場所に確実に取り付ける</b> 落下による、けがの原因になります。
 確実に取り付ける	<b>底板や部品は確実に取り付ける</b> 落下による、けがの原因になります。
 電気工事士が実施	<b>電気工事・アース工事は、電気工事士（※）が行う</b> 電気工事士以外の人が工事すると、火災・感電・けがの原因になります。※ 電気工事士への依頼は、お買上げの販売店・または電気工事店にご相談ください。
 手袋着用	<b>取り付けのときは、手袋を着用する</b> 手袋を着用しないと、けがの原因になります。
 取付禁止	<b>炎が接近したり、あたる恐れのある場所には取り付けない</b> 火災の原因になります。

# 取付上のお願ひ

- 浴室に使用される場合は必ずドレン処理をしてください。
- ドレン口に接続するドレンパイプを折らないでください。  
結露水がたまります。
- ファン・モータ点検・メンテナンスのため右図に示す寸法以上の点検口を本体の真下に必ず設けてください。
- この換気扇にはスイッチは付属しておりませんので、工事の際準備してください。
- ダクトと排気口および吸込口をテクスねじなどでねじ止めするときは、シャッターにねじが当たらないよう注意してください。
- 次のようなダクト工事はしないでください。



- (1) 極端な曲げ      (2) 多数回の曲げ      (3) 接続ダクト径を極端に小さくする      (4) 排気口のすぐ近くでの曲げ



- 業務用 24 時間風呂のような常時湿気のある場所では寿命が短くなる場合があります。

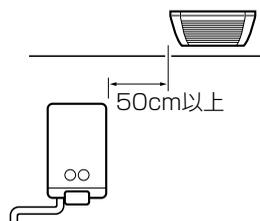
- 次のような場所には取り付けないでください。

1. 高温 (40℃以上) になる場所

- ①ガスレンジの真上
- ②ガス湯沸器の真上(横方向へ 50cm 以上離してください。)
- ③換気機能のない浴室・乾燥機を使用する浴室

2. 台所など油煙の多い場所

3. 腐蝕性ガスの発生する場所



- 効率よく排気させるため排気ダクトと同じ大きさの空気の入入口を部屋の反対位置に設けてください。

- DVC-20T1 の強弱運転の配線は必ず配線図の通りに行ってください。

誤った配線をしますとモーターが焼損する恐れがあります。

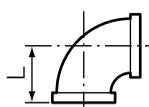
- 共同ダクトへ排気する場合は、建築基準法施工令により防火の役割を果たすものを使用するよう義務づけられています。2m の鋼板立上りダクトを取り付けるか別売部品の電動防火ダンパーを取り付けてください。

- ジャバラ (別売部品) の使用については、地区により異なった規制を受ける場合がありますので、あらかじめ所轄の官公庁 (特に消防署) にご相談ください。

- やむを得ず、水気のある場所でご使用になる場合は、販売店または電気工事店にご相談ください。据え付ける場所によっては、法令により屋内配線に漏電しゃ断器を取り付ける必要があります。

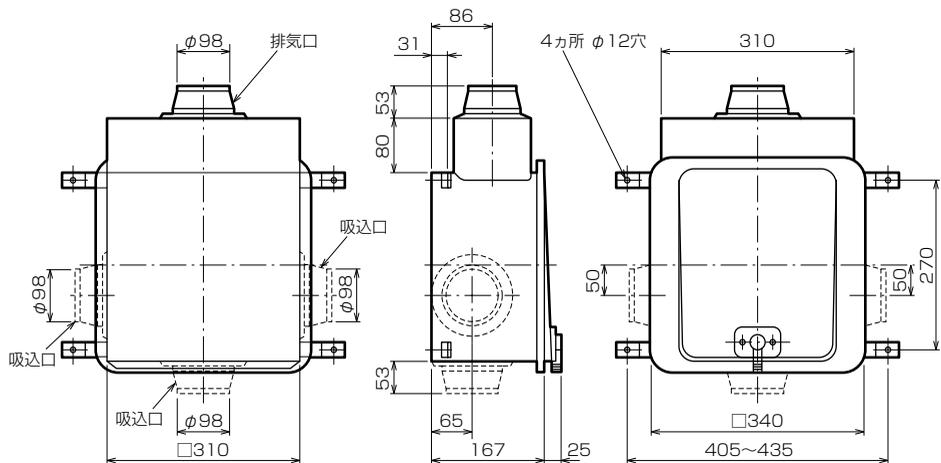
- 取付は排気口および吸込口の外周にはめ込みテープまたはコーキング材で密封してください。

- エルボは 4 番パイプ用 L-112 (JISK6739DL 形) のものをご使用ください。

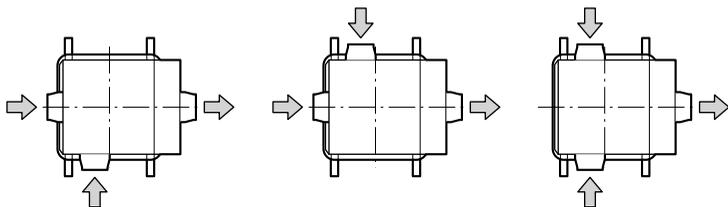


取付パイプ	外 径	内 径
VU-100	φ114	φ107
VP-100	φ114	φ100
メタルパイプ	—	φ100

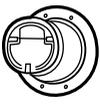
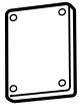
# 製品寸法



本製品は遮へい板により吸込口を2カ所にできます。  
 吸込方向の組合わせは右図の通りです。  
 (本体上側より見た図)



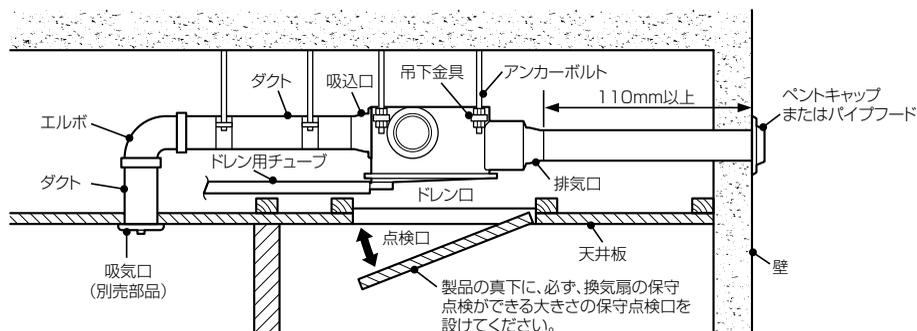
# 付属品

吸込口 	タッピンねじ (吸込口固定用)  φ4×6L	ゴムクッション (本体固定用) 	平座金 (本体固定用) 	風量調整板  (DVC-18T1のみ)	遮へい板 
3個	12本	8個	8個	1枚	1枚

別売部品をご利用ください (詳しくはカタログをご覧ください。)

<b>ベントキャップ パイプ用フード</b> 直接屋外へ排気する場合 風雨の浸入を防ぐのに 使用します。	<b>ジャバラ</b> 換気扇の排気口とダクトの 位置ずれを調節する ときなどに使用します。	<b>防火ダンパー 電動防火ダンパー</b> 火災が発生したとき排 気口から他への延焼を 防止するために使用し ます。	<b>吸気口</b> 室内側吸込グリルとして 使用します。
---	---	---	-------------------------------------

# 取付図

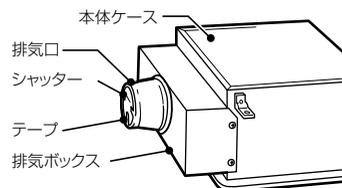


## 取付方法

取付工事前に本体に異常音、変形などの異常がないか確認してください。

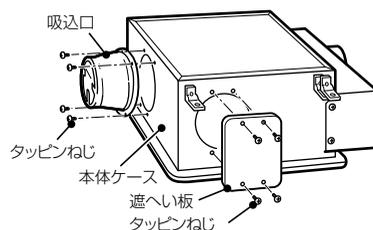
### 1 排気口のシャッターを止めているテープをはがす

- このときシャッターを変形させないでください。
- 排気ボックスは工場出荷時に本体ケースに取り付けてあります。



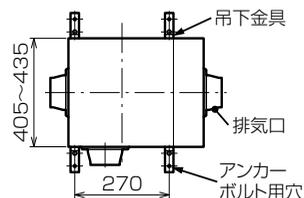
### 2 吸込口・遮へい板を付属のねじで固定する

- 吸気方向を選択して吸込口と遮へい板を付属のタッピンねじで取り付けます。
- 吸込口・遮へい板 1 個につき 4 本のタッピンねじで固定します。
- DVC-18T1 には風量調節板を付属しています。トイレ等風量を減らしたい方向の吸込口と本体ケースの間にも締めつけてください。(各吸込口よりの風量比は 2 : 1 になります。)



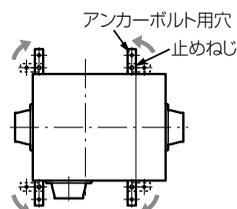
### 3 アンカーボルトを埋め込む

- 右図の寸法を参照してアンカーボルト (市販の M10) 4 本を埋め込みます。



### 4 吊下金具の位置を調整する

- 工場出荷時は点線の位置になっていますので、止めねじをゆるめ、アンカーボルト用穴位置が、アンカーボルトのピッチに合うよう調整、止めねじを固定します。



#### お願い

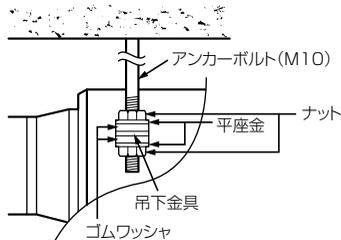
- 止めねじはしっかり固定してください。固定が不十分ですと振動、騒音の原因となります。

## 5 本体ケースをアンカーボルトに固定する

- 付属のゴムクッション、平座金を使用し、吊下金具をアンカーボルトにナットでしっかり固定します。

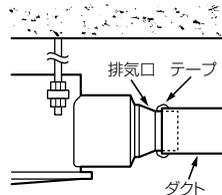
### お願い

- 取付時ドレン口側を必ず下側とし、本体ケースは水平に取り付けてください。排気方向を間違えないよう、排気口の方向に注意し取り付けてください。
- 取付はしっかり固定してください。不十分ですと振動、騒音の原因になります。



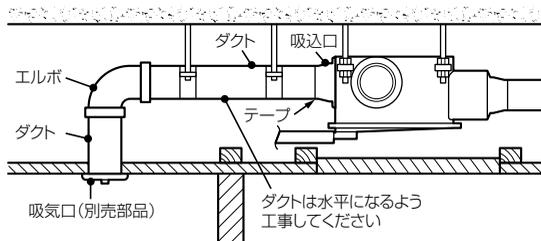
## 6 排気口にダクト (パイプ) を接続する

- 接続部はテープまたはコーキング材で密封してください。
- 排気口に接続するダクト (パイプ) は若干屋外側に傾けて取り付けてください。ただし傾けすぎるとシャッターがダクトにあたり、動作不良になることがありますのでご注意ください。



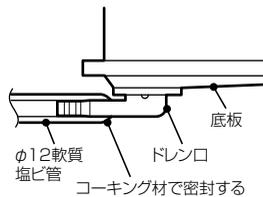
## 7 3 (2) 個の吸込口にそれぞれダクト (パイプ) 配管する

- 接続部はテープまたはコーキング材で密封してください。
- エルボの吸気口 (別売品) 取付部にも必ずパイプを取り付けてください。パイプがないと吸気口が取り付けません。
- 吸込口やエルボにパイプの質量が加わらないように、パイプをアンカーボルトなどで保持してください。
- 室内側には吸気口 (別売部品) を取り付けてください。



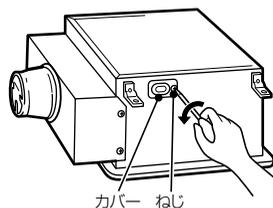
## 8 浴室に使用する場合はドレン処理をする

- ドレンキャップをはずし、水抜き用チューブを差し込み接続部をコーキング材などで密封してください。ドレンキャップがはずれにくい場合は、ペンチなどを使用してはずしてください。
- 水抜き用チューブは内径φ12の軟質塩化ビニル管をお使いください。
- 水抜き用チューブの他端は必ず排水可能なところまで出してください。
- ドレン口の方向は4方向選べます。底板のねじをゆるめ本体ケースへの固定方向を変えてください。



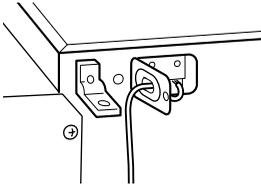
## 9 電源を接続する

- 配線工事や電源スイッチの取付は必ず電気工事に依頼してください。
- ①カバーのねじをゆるめカバーを開けます。
  - ②電源コードはVVFケーブルφ1.6またはφ2.0を準備してください。電線被ふくは14mmむいてください。

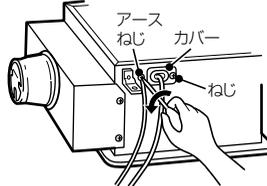


## 9 電源を接続する (つづき)

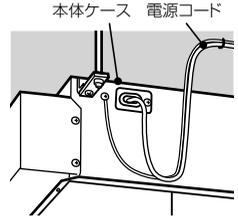
- ③カバーの穴に電源コードを通し、コネクターに芯線が止まるまで確実に奥まで強く差し込んでください。
- ④カバーを閉じてねじを締め付けます。



- ⑤アースを取り付けます。アース線は断面積 1.25 平方ミリ以上の電線を使用してアースねじに確実に接続してください。



- ⑥電源コード線およびアース線は本体付近で 70cm 以上たるませてください。

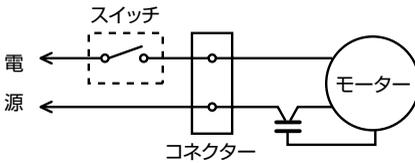


### ご注意

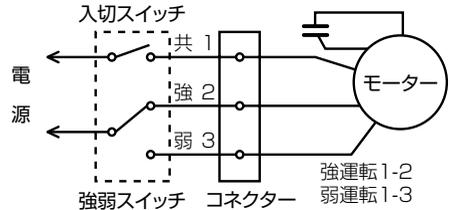
- 配線は下図の配線図に従ってください。
- スイッチは付属していませんので、市販品を準備してください。
- DVC-20T1 は強弱切換できますので“入切”用の片切スイッチと“強弱切換”用の 3 路スイッチからなる連用スイッチを準備してください。

### 配線図

#### DVC-18T1



#### DVC-20T1



以上で取付完了です。次の点検を行い異常がないか確認してください。

- 換気扇を運転したとき異常音、異常振動がないこと。